

第 275 回環境委員会・第 212 回フタレート部会 議事録

日 時 2024 年 9 月 25 日 (火) 14:30~16:00

場 所 東部ビル 1 階事務所ハイブリッド開催

出席者 安藤環境委員長、楯谷副委員長、加茂川副委員長、石神副委員長、古賀アジパート部会長、
高見技術部会長、小野広報部会長、長田委員、藤澤委員、小川アドバイザー、
宮崎常昭アドバイザー
根岸副会長、山下理事、柳瀬技術部長、山口 (記)

欠席者 盛田会長、宮崎謙一フタレート部会長

冒頭、参加者全員が独禁法遵守ガイドラインを確認した。

8 月度トピックス：柳瀬技術部長

・米国：DINP のリスク評価案で 2 つの unreasonable risk (床材、高圧スプレー用途での労働者ばく露) が示された。加州で DEHP を含む点滴バッグ・チューブを禁止する法案が提出された。

・中国：GB 改正により、PVC 床材中のフタレート可塑剤の含有量が 0.1wt%以下に制限された。WTO/TBT 通報中。

安藤環境委員長：中国では床材に使えなくなるということか？

柳瀬部長：含有量から言うと実質禁止ということ。

1. 各部会報告

1-1. フタレート部会

1-1-1. 環境 WG

高見部会長より報告。

・環境モニタリングの提出の結果が出た。特に目立つ変化はなかった。2022 年度の自治体の公共水域水質測定結果も出たが福島県において PEC/PNEC が 1 の場所が 1 点あった。

1-1-2. 安全 WG

長田主査より DEHP の In vitro 試験についてメディフォード社が 4 時間後以降の代謝の値を計算値で求めるモデルがあるとのことなので今後詳細を確認する。

1-1-3. 調査 WG

柳瀬部長より報告。

2409-005：スイス、DEHA、DINCH、DOTP の皮膚吸収調査

2409-006：韓国、DEHP と DINCH の血液バッグの赤血球保存の品質を比較。概ね同等。

2409-022：カナダ、有機リン酸エステル of in Vitro 試験

2409-028：中国、マイクロプラスチックからのフタル酸エステルの溶出メカニズム、環境影響

2409-072：ノルウェー、血液バッグに DINCH を使用することは可能。

1-2. アジパート部会

1-2-1.PVC 安全衛生連絡会

古賀アジパート部会長より報告。

・INC-5 の専門家会合が 8 月下旬にもたれた。参加した JCII の石動氏によると懸念される化学物質については各専門家からは具体名を伴った発表がなされたが、要約には具体名が記載されなかった。INC-5 ではゼロドラフトに近いもの（具体名が入らない）になるのかもしれない。

1-2-3.DOA の NITE による GHS 分類

・生殖毒性について、代謝の種差の観点から DOA の文献を調査し反論を用意すべく、MCR に文献調査を依頼したい。費用は予算 200 万円に対し 100.1 万円である。100 万円を超えるので会長に決裁を仰ぐことで進めたい。

1-3. 広報部会

小野部会長より報告。

・8/29、経産省へ三役交代の挨拶をした。

柳瀬部長：北陸先端大学の講演は約 40 名出席。20 名が学生。20 名が教授と社会人であった。

1-4. 技術部会

高見技術部会長より報告。

1-4-1.顧客からの問い合わせ

・柳瀬部長より説明

1-4-7.マルポール条約関連

・DIDP が X 判定になった理由を前回の Y 判定の時のデータを提示して国交省に確認する予定。

1-4-11.GHS 分類

・2020 年度に政府の分類が大幅に変更されたが、政府分類と JPIA の分類の比較表の記載内容は更新されていない。可塑剤工業会の分類を含めて技術部会で見直すこととしたい。

安藤環境委員長：概ね厳しくなったということか？

高見部会長：厳しくなった。JPIA のスタンスを議論しなければならない。

2.PVC 関連団体とのコワーク他

柳瀬部長より説明。

4-1-2-2.シックハウス関連

・中間報告書のパブコメ募集に対し提出するコメントを検討中

（2E1H メーカーのコメント）

・JNC（高見部会長）：Miyake et al.の論文を有害性値の根拠にした理由が腑に落ちない。懸念点有り。

・KH ネオケム（宮崎アドバイザー）：JNC の回答とほぼ同じ。

・MCCG（小川アドバイザー）：決められた手順に準じて進められているかどうかチェックしたが問題なかった。根拠論文についても大きな問題があるわけではない。

・JPIA パブコメ案（長田主査）：Miyake et al.を採用することの問題点を意見書として出すこととしたい。

小川アドバイザー：JPIA の論点に特に意見はない。MCCG はそもそも論で 2E1H の毒性が弱いものより先に議論すべきものがあること等の意見を提出する予定。

安藤環境委員長：Miyake et al.を採用することの問題点を中心として JPIA の意見書を提出することとする。

3-3-1.TSCA 関連

長田主査：DINP の評価書の意見募集がされているが、TSCA でリスクがあると指摘されている部分が日本ではリスクがあるものかどうか知りたいので、工業会会員に調査をお願いしたい。

安藤環境委員長：取り進め願いたい。

以 上